

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標	上位目標:「住民参加による教育の質的向上を通じた初等教育の普及に貢献する」
(2) 事業内容	<p>イ. 事業形成・評価会議</p> <p>初年度に引き続き、ミグワニ県開発委員会会議（DDC 会議）に参加している。7月31日までに2回のDDC会議に出席し、当事業の計画・進捗・課題の報告をおこなっている。また、新たに就任したミグワニ県副知事に対して、当事業の説明とこれまでの活動報告をおこない、活動に対する理解と協力を得た。加えて、県開発局長の招待により、ミグワニ県開発関係者会議に出席し、ミグワニ県で活動する他の開発関係者並びに各省庁関係者に対して活動の報告をおこなうとともに、事業を実施していく中で、さらなる開発関係者・省庁関係者との連携を深めることで合意した。</p> <p>また、建設活動に関して、県教育局長・教育官・県公衆衛生官を対象に4回の訪問を実施した。地域住民向けの基礎保健研修に関して、県公衆衛生官と区長・助役を対象に12回の訪問を実施した。</p> <p>ロ. 質の高い教育の実現</p> <p>小学校教員エイズ教育研修は、集合研修として第1課程を県全域となる5教育区において1回ずつ、第2課程を2回ずつの計15回の研修を実施した。また、教員エイズ研修を修了した教員によるエイズ公開授業を3校で実施し、当会専門家が助言者として参加した。子ども発表会については、実施を計画している2小学校を訪問し、子どもたちの発表内容に関して教員と当会専門家が話し合いをおこなった。また、初年度中に教員との事前会議を実施した2校において子ども発表会を実施した。</p> <p>特定校での早期妊娠予防研修は、ミグワニ県全5教育区の教育官から、当研修実施のニーズのある候補校をそれぞれ3校ずつの計15校が挙げられた。2年度はこの中から優先順位の高い10校での実施を目指している。これまでに5小学校で当該研修を実施した。</p> <p>環境活動と子どもの健康に関する集合型研修および、教員対象の特定校での研修は、現在保護者対象の環境活動を実施しながら、活動内容ならびに活動形成の検討をおこなっている。</p> <p>幼稚園教師向けの保健・エイズ知識に関する研修については、個別幼稚園での保健活動形成を優先し、未実施である。</p> <p>ハ. 住民参加による学習環境の形成</p> <p>初年度から活動を継続していた3校については、現時点までにすべての小学校で活動を完了した。2年度については、ミグワニ県教育局長および各教育区の教育官とともに実施校選定会議を開き、そこで教育官より教室建設・補修のニーズのある小学校が挙げられた。候補として挙げられた小学校を当会専門家が訪問をおこない、二一</p>

	<p>ズや活動実施条件を満たしているかの調査を実施した。最終的に確定した2年度の実施校数は、教室建設4校、教室補修4校、リテンド壁建設による土壌保全1校で、現時点で、学校運営能力向上事業を実施する覚書1を締結し、学校運営、建設技術、建設資材収集に関する保護者への研修を実施しながら、建設・補修のための現地資材の収集も行なっている。</p> <p>保護者対象の環境活動については、初年度からリテンド壁建設による土壌保全活動を実施している2校については、現時点までにリテンド壁の設置を完了し活動を終了した。2年度については、4校での環境活動を開始し、植樹、苗床づくり、学校菜園、土壌保全を実施している。</p> <p>トイレ建設については、前提となる保健活動をおこなう候補幼稚園を訪問し、現在選定作業中である。</p> <p>学校保健においては、保護者対象のエイズ学習会を1校で実施した。また、保護者対象の早期妊娠予防研修を、教員への早期妊娠予防研修を修了した5小学校中4校で実施した。</p> <p>幼稚園保健では、初年度の保健・エイズ知識に関する研修を修了した幼稚園教師が在籍する幼稚園から、幼稚園教師・保護者代表・校長の3者を招き、全5教育区で1回ずつ関係者会議を実施した。また、関係者会議に参加した幼稚園には、保護者と教員の協力による保健活動の実践を促進するため、体重計と成長記録カードを配布した。特定幼稚園での保健活動形成をめざした保護者への保健学習会は、現在候補校を訪問し、選定作業中である。</p> <p>二. 地域に開かれた学校の実践</p> <p>地域リーダー育成については、初年度の未実施地域2区を対象に戦略会議をそれぞれ1回ずつ実施し、活動が完了した。また、住民代表対象の基礎保健研修を、現時点で、ミグワニ県全36準区のうち13準区にて実施した。</p> <p>住民対象の公開学習会では、初年度未実施であった3区において、エイズ公開学習会を22村クラスターで、母性保護公開学習会を19村クラスターで実施し、全県での活動を完了した。</p> <p>※各活動の実施詳細に関しては、別紙の「日本 NGO 連携無償資金協力事業詳細報告書」を参照。</p>
(3) 達成された効果	<p>※【】内人数は直接裨益者数</p> <p>1. 学習機会としての効果 別紙「日本 NGO 連携無償資金協力事業詳細報告書」の2. 延べ裨益者数・研修指標モニタリングを参照。</p> <p>2. 活動ごとの効果</p> <p>3-イ. 事業形成・評価会議 ・課題理解と対処意識が向上する県開発委員会関係者</p>

【2年度目標：20人】【中間概況：66人】

・課題理解と対処意識が向上する郡レベル行政官

【2年度目標：15人】【中間概況：0人】

・課題理解と対処方針が改善する区レベル行政官

【2年度目標：50人】【中間概況：26人】

・課題理解と対処意識が向上する教育官

【2年度目標：6人】【中間概況：0人】

・課題理解と対処方針が改善する教育関係者

【2年度目標：50人】【中間概況：0人】

3-ロ. 質の高い教育の実現

◆小学校

・基礎的なエイズ教育を教授できる教員

【2年度目標：100人】【中間概況：80人】

・高度なエイズ教育を教授できる教員

【2年度目標：100人】【中間概況：0人】

◆幼稚園

・保健知識・技能を向上させた幼稚園教師

【2年度目標：10人】【中間概況：0人】

3-ハ. 住民参加による学習環境の形成

◆教室建設

・教室建設数※【】内は教室数

【2年度目標：4教室】【中間概況：3教室（初年度からの継続活動）が完成、4教室の建設活動を実施中】

・学校運営能力・建設技術が向上する保護者数

【2年度目標：800人】【中間概況：2,485人（内346人は初年度からの継続活動の直接裨益者）】

◆教室構造補修

・教室構造補修数※【】内は教室数

【2年度目標：5校20教室】【中間概況：4校15教室の構造補修活動を実施中】

・学校運営能力・建設技能が向上する保護者数

【2年度目標：1,000人】【中間概況：949人】

◆水タンクを設置する学校※【】内は学校数

【2年度目標：9校】【中間概況：2校】

・学校運営能力・保健知識が向上する保護者数

【2年度目標：90人】【中間概況：0人】

◆トイレ建設

・トイレを設置する学校※【】内は学校数

【2年度目標：5校】【中間概況：0校】

・学校運営能力・保健知識が向上する保護者数

【2年度目標：250人】【中間概況：0人】

◆環境活動

・環境活動を実施する学校数※【】内は学校数

	<p>【2年度目標：5校】【中間概況：6校（内2校は初年度の継続）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校運営能力・環境知識が向上する保護者数 <p>【2年度目標：350人】【中間概況：2,503人（内835人は初年度からの継続活動参加者）】</p> <p>◆保健・エイズ学習会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健・エイズ学習会を実施する学校数※【】内は学校数 <p>【2年度目標：10校】【中間概況：1校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エイズ・保健知識が向上する保護者数 <p>【2年度目標：200人】【中間概況：55人】</p> <p>◆早期妊娠予防研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早期妊娠予防研修を実施する学校数※【】内は学校数 <p>【2年度目標：10校】【中間概況：4校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早期妊娠予防研修で裨益する保護者数 <p>【2年度目標：200人】【中間概況：312人】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早期妊娠予防研修で裨益する生徒数 <p>【2年度目標：1,560人】【中間概況：862人】</p> <p>◆幼稚園保健活動のための関係者会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健活動のための関係者会議に参加する関係者数 <p>【2年度目標：50人】【中間概況：238人】</p> <p>◆幼稚園保健学習会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園保健学習会を実施する幼稚園数※【】内は幼稚園数 <p>【2年度目標：5園】【中間概況：0園】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健知識・技能が向上する保護者数 <p>【2年度目標：250人】【中間概況：0人】</p> <p>3-2. 地域に開かれた学校の実践</p> <p>◆村長老対象地域の健康のための戦略会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の健康のための戦略会議に参加する村長老数 <p>【2年度目標：36人】【中間概況：47人】</p> <p>◆住民対象基礎保健研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民対象基礎保健研修に参加する住民数 <p>【2年度目標：720人】【中間概況：598人】</p> <p>◆エイズ・母性保護公開学習会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エイズ公開学習会に参加する住民数 <p>【2年度目標：180人】【中間概況：424人】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母性保護公開学習会に参加する住民数 <p>【2年度目標：180人】【中間概況：264人】</p>
(4) 今後の見通し	<p>イ. 事業形成・評価会議</p> <p>県・郡・区・教育区レベルの関係者と随時進捗状況の確認と地域課題への理解を得るための議論をおこなう。</p> <p>未実施の郡レベル、教育関係者との会議については、本年度の活動報告と次年度の活動の共有もおこなうため、本年度事業の後半に会議を持つ予定である。</p>

3-ロ. 質の高い教育の実現

小学校教員を対象としたエイズ教育の集合研修は、第3課程について、県全域となる5教育区において1回ずつ計5回の研修を実施する予定である。2年度の計画では第3課程を5教育区で2回ずつ実施する予定であったが、現時点までの第2課程まで修了した教員数から研修のニーズを推測し、1回の実施となる見込みである。公開学習会と子ども発表会は、引き続き、エイズ教育研修修了者に実施の推進をしながら、目標の達成を目指す。

環境活動と子どもの健康に関する集合型研修については、特定校での研修を実施しながら、集合型研修に取り込むべき地域の課題を観察し、研修内容の形成を試みる。また、教員対象の特定校での研修については、現在保護者向けの環境活動を実施している小学校にて、具体的な環境活動を開始する予定である。

幼稚園教師向けの保健・エイズ知識に関する研修は、本年度は個別幼稚園における保健活動の形成に重点をおくため、計画を変更し、第3年度に実施することとする。また、来年度実施する際に、初年度に実施した同研修の終了者数から研修対象者が少ない教育区もあり、事業の効率の観点から、いくつかの教育区を統合したかたちで実施する予定である。

3-ハ. 住民参加による学習環境の形成

現在、覚書1を締結している教室建設4校、構造補修4校、リテンド壁建設による土壌保全1校において、この後、建設・補修作業に移るための覚書2を締結し、建設・補修を完成する予定である。2年度の計画では、教室建設4校、構造補修5校の予定であったが、構造補修の候補校であった1校でリテンド壁建設による土壌保全を優先することで公衆衛生官および保護者と合意したため、構造補修を4校で、土壌保全活動を1校で実施・完了する見込みである。

小学校での環境活動については、覚書を締結した4校での活動を継続し、さらに子どもの健康向上のための環境活動実施に意欲のある学校を引き続き選定し、目標の5校での環境活動の形成と継続を目指す。

学校保健における、小学校での保護者へのエイズ学習会は、2年度の計画どおり開催する予定である。早期妊娠予防研修についても、2年度の目標である10校での実施を達成する見込みである。

幼稚園保健の特定幼稚園での保護者対象保健学習会は、現在候補幼稚園を訪問し選定作業中であり、9月から選ばれた幼稚園での活動を開始し、2年度の目標の5校での活動実施を達成する見込みである。

3-ニ. 地域に開かれた学校の実践

住民代表対象の基礎保健研修を残りの23準区で実施し、2年度の目標であるミグワニ県全36準区での実施を達成する見込みである。